

# 和歌山の交通

華 丹妮  
教育学部 交換留学生 中国

私は四月に日本に来て、もう三ヶ月以上になる。和歌山で一番印象深いことは交通である。

交通は人々の生活を変えるだけではなく、人間の命にも影響を及ぼす。私にとって、命は一番重要なことである。交通が便利になると交通事故も増えるので、事故には気をつけなければならない。

和歌山の交通網は完璧だと思う。和歌山にはバスやタクシーや電車などがある。それは中国と違う。中国ではバスやタクシーをよく使う。和歌山では多く的人是は自転車やバスやタクシーや自動車をよく使う。もちろん、日本には新幹線や飛行機も一般的な交通手段である。

和歌山では多くの人々が自転車を使うことに気がついた。学生だけではなく、働く人も自転車をよく使っている。また、若者だけではなく、お年寄りも自転車をよく使っている。自転車を使うのは健康にいいと思う。私は、学校に行く時、買い物に行く時、遊びに行く時、自転車をよく使う。私は中国で自転車を使ったことがないが、和歌山に来てから、自転車に乗るのが上手になった。初めて自転車に乗って学校に行った時、とても気持ちが悪かった。なぜなら、会館から学校までは非常に遠く、片道だけでも一時間かかるからだ。



最初の一週間はなかなか慣れなかったが、一週間後、慣れた。最近、私は自転車に乗るのが好きになった。私は運動が嫌いなので、運動不足だけれども、運動したくない。だから、体はよくない。今、自転車で大学と会館を往復するだけで2時間かかる。健康になると思う。

和歌山の交通の時刻表は完璧だと思う。電車だけではなく、バスの時刻表も完璧だと思う。中国でバスは時刻表があるけど、いつも始発と終点の時間だけきちんとしている。途中のバス停の時間は推測しにくい。私は40分でバスを待っていたことがある。その時怒ったけど、しようがなかった。和歌山でそんなことを心配する必要がない。個々のバス停で時刻表があるだけではなく、時間になったら、

バスが必ず現れる。

和歌山でバスのスピードは速いと思う。初めて日本でバスに乗った時、びっくりした。それほど早かった。高速道路を走っているようだった。もちろん、バスだけではなく、自動車のスピードも速い。特に、赤信号で止まって、青信号になったところ、とても速い。これは時間を節約することになるだろうが危険だと思う。でも、人々は交通ルールを守れば、危険だと思っていない。

和歌山の道路は中国よりももちろん狭い。日本の国土は小さいが、中国の国土は大きい。でも、一部の道は細すぎると思う。なぜなら、一両車はなんとか通るが、二両一緒に通るのは無理である。それは不便だが、しょうがないと思う。

和歌山の交通ルールは不思議だ。中国と違うところが多い。歩行者と自転車の道は道路の両側にあるが、バイクと自動車の道は真ん中にある。中国で道路の両側は歩行者が使うだけである。真ん中の道は二車線ある。一車線は機械で動く車のための道である。他のは自転車と電気自転車のための道である。そうすれば、もっと安全だと思う。また、和歌山には信号が多い。とても小さい交差点でも信号がある。人々は信号のルールを守る。中国で信号がそんなに多くない。田舎ではもっと少ないので、危ないと思う。

和歌山で交番が非常に多い。小さくても大きくても本当に多い。警察はとてもやさしくて熱心である。毎日交番の前を通じる時、警察官は微笑しながら「おはようございます」と言ってくれる。あいさつしたら、だれもが気持ち良くなる。

和歌山では、中国と比べて交通事故は少ない。中国で交通事故は大きい問題である。人口は多いけど、交通事故率はそんなに高くないと思う。和歌山の交通秩序はきちんとしている。先日、偶然交通事故を見た。救急車が最初に着いて、それからパトロールカーが着いた。本当に速い。和歌山の道は込んでいるときが多いが、人々は交通ルールを守るので、事故があった時、救急車やパトロールカーが通りやすい。そうすれば、怪我した人にとっても早く手当てができる。事故は早く処理する。



「命は大切だ。命があったら、何でもできる可能性がある。命がないと、何もできない」と言われる。私もそう思う。だから、交通がどんなに便利になり、スピードももっと速くなり、人々は生命を一番大切にしなければならない。和歌山に住んで、このようなことがよく分かった。